

日本映画の振興と教育・福祉事業を支援

山路ふみ子

文化財団の歩み

—山路ふみ子文化財団の今を綴る広報誌—

令和5年度～令和6年度

ご挨拶



岩崎 光洋
(理事長)

戦前新興キネマのスターだった山路ふみ子先生が昭和51年、日本映画の振興のためにと、私財を投じて財団法人山路ふみ子文化財団を設立しました。その後、多年にわたる顕著な功績が評価され、平成23年に公益財団法人に認定され、現在に至ります。ほぼ半世紀にわたり、毎年11月に贈呈式と映画賞受賞作品の上映会を開催し、これまでに映画賞(45名)・文化賞(37名)・映画功労賞(50名)・福祉賞(35名)・女優賞(36名)・新人女優賞(33名)・文化財団特別賞(42名)計278名の個人・団体に受賞していただいたことは、弊財団の最も誇り得る業績と考えております。

特に、映画の裏方として素晴らしいお仕事をされている映画照明・カメラマン・スクリプターの方々や、美しく、感動的な教育・福祉映画を制作された方々にスポットライトをあてることのできたのも、弊財団の日本映画への独自の貢献と幸いです。

また近年、地方での映画館がその数を減らしていくなか、平成21年の静岡県熱海市を皮切りに、新潟県上越市、長野県中野市、秋田県にかほ市、岐阜県東白川村、佐賀県武雄市、北海道深川市、東京都練馬区などからの要請に応え、計八か所で、教育・福祉関連の名画上映会を開催し、多くの住民の皆様から大きなスクリーンの迫力ある映像に感動していただいています。

弊財団のほか、山路先生は昭和38年に山路ふみ子自然科学振興財団を設立、戦後の荒廃から高度経済成長を支える日本の自然科学研究者に研究助成をしました。平成元年には2つの公益信託、山路ふみ子専門看護教育研究助成基金と高校生のための奨学基金を設立、現在もなお、各運営委員の先生方のご尽力により、支援活動が継続されています。

山路先生は平成16年、92歳で永眠しましたが、その生涯を通じ2つの財団、2つの公益信託を設立した人は、他にはないと思います。「人様のために何かしてさしあげられることこそもっとも幸せなことです」と、述べた先生の言葉を忘れず、これからも弊財団は世のため、人のための活動を続けてまいります。なにとぞ、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財団役員一覧

(令和五年四月一日現在)

理事長

岩崎 光洋

常務理事

佐藤 善志

理事

岩崎 光洋

佐藤 善志

赤坂 由美

坂本 敦子

中野 薫樹

橋本 寿史

服部 朋秋

監事

杉野 浩之

坂田 英夫

鈴木 伸東

評議員

篠澤 礼子

田村やよひ

小松 浩子

村上 俊夫

藤間 弥生

大久保 武

鶴見 保

平岡 鉄夫

押山 芳子

コロナ禍の令和4年度から4年目の

令和5年度へ・・・



佐藤 善志
(常務理事)

令和2年4月7日の安倍内閣時に発せられた「新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言」から3年目。令和4年度は、予定した事業の実施可否について役員間で幾度となく議論し、感染防止対策に慎重の上に慎重を期して次の3事業を催行いたしました。

まずは、財団運営協力者が一堂に会して弊財団の創立者・山路ふみ子の女優時代の足跡を訪ね、その地で「合同懇談会」を行うことを企画いたしました。

この開催は、代表作「愛怨峡」のロケ地となった信州・別所温泉の宿で9月3日に開催いたしました。
(註・詳細は本「財団の歩み」前号で紹介)

次の事業は、一昨年は中止で、昨年再開した「山路ふみ子映画賞贈呈式」でした。

これは、東京神田・一ツ橋ホールに於いて第45回の式典を11月25日に開催いたしました。

そして3つ目の事業は、12月10日に、東京南青山・青山霊園に於いて「山路ふみ子17回忌法要・お斎の会」を厳かに開催し、歴代映画賞受賞者やマスコミなど多数の方にご参列いただきました。(註・この2つの詳細は、次頁以降で紹介)

これらはいずれもご支援くださる皆様方の多大なるご理解とご厚情のもとに、成功裏に催行出来ましたことに改めて御礼を申し上げる次第であります。

来る令和5年度は、地方での地元自治体とタイアップしての「名画特別上映会」をはじめ、映画関連事業の開催に向けて役員一同が一丸となつて取り組む所存であります。

永田 稔前理事を偲んで



昨年10月16日に81歳で永眠された弊財団永田稔前理事を偲び、ここに永田先生の弊財団における活動をご紹介します。

平成20年7月 財団評議員に就任

平成22年10月 第1回学生映画コンクールを勤務先である東京・池袋「新文芸坐」で開催

平成24年10月 山路ふみ子映画賞選考委員会委員に就任

平成25年6月 財団理事に就任

永田先生は、東京・池袋の名画座「文芸坐」に長年勤務し、支配人として時勢に合ったプログラムやイベントを企画し、興行側から映画の魅力を伝えてきました。同じ地に再建された「新文芸坐」でも初代支配人として腕を振るい、平成15年には第1回「文化庁映画賞」映画功労賞を受賞しました。

顧みて、永田先生は映画興行の難しさを訴える一方、機会あるごとに映画の魅力を熱く語っていました。一線を退いても不自由な体など構いなしで、「映画は劇場で見るときの」との信念を通し、「今日も映画館に行ってきたよ」と返された笑顔が忘れられません。

永田先生ありがとうございました。
謹んでお悔やみ申し上げます。



第45回 映画賞贈呈式に携わって



鶴見 保
(評議員)

令和4年11月25日に行われた第45回映画賞贈呈式で、奉職する国士館大学のチアダンス部の女子学生十名が、ステージでの受賞者に対するプレゼンターとしてお手伝いさせていただきました。

財団の目的は「日本映画の振興」に加え「教育」「福祉」です。本贈呈式は「教育」の一環として、責任を果たすことを学んでもらおうと、毎回学生たちに記念盾、花束等を直接受賞者に手渡す重要な役目をお願いしています。

財団からこのお手伝いのお話しをいただいた際には、学生諸君のちよつとした思い出になれば程度に受け止め、軽々に承諾してしまいました。ところが、学生諸君らにとつては「大学の看板を背負うつもりで頑張ろう」との意気込みで「知らな

いでは済まされない大人の常識マナー」の本ままで購入した学生もいたと後で知りました。

私は、当日は役員として壇上席に座ったことから、すぐ脇に立つ学生に声もかけられず、その一挙手一投足にハラハラするだけでした。ただ贈呈の都度、受賞者の皆様が学生に満面の微笑みで対応されている姿に安堵すると同時に、「どうだ、本学の学生は」と誇りも感じました。

学生諸君がその任を全うしてくれたことはまさに喜びです。改めてこのような機会を設けてくださった財団に感謝するとともに、当該学生らにとつてこの貴重な経験が、社会に出た際にきつと生かされるものと確信しております。



一ツ橋ホールエントランス前で

貴重な体験に感謝

国士館大学チアダンス部 長谷川 琴音

私たち国士館大学チアダンス部「ELVES (エルブズ)」は箱根駅伝はじめ様々な大学部活動の応援を行っております。大学祭やイベントのほか地域貢献活動も行っており、昨年は交通安全運動に協力したことで町田警察署長から感謝状をいただきました。

日ごろからチームとして素直な心と感謝の気持ちを忘れずに活動していたからでしょうか、この度部員10名が由緒ある映画賞贈呈式で各賞を受賞者に贈呈するプレゼンターという大役を務めさせていただくことになりました。

当日は開式の4時間ほど前から幾度もリハーサルを重ね、財団役員や学生映画コンクール運営委員OGの方々から「会釈」から「足の運び方」まで、これまで経験のないいくつもの「所作」を徹底的に勉強させていただきました。

普段ユニフォームを着用して人前でダンスすることには慣れているのですが、スーツ姿でほぼ満席のお客様全員から注目を受け緊張しました。それでも普段から姿勢については厳しい指導を受けていたおかげで、緞帳が降り、関係者の方々から「立ち姿が美しかったですよ」とお声がけいただいた時は、感激しました。

今回、この贈呈式の一端を担い、気持ちを含めて精一杯務めさせていただいたことが、私たちにとつて貴重な体験であり、自身と誇りともなりました。山路ふみ子先生の「公平、親切、丁寧の志」を山路イズムとして次世代につないでいきたいと思えます。



プレゼンターの面々

「山路ふみ子十七回忌法要」

「お斎の会」を開催



中野 薫樹
(理事)

引き続き都市センターホテル（東京・千代田区）に会場を移し、「お斎の会」を行いました。会場には法要に参列いただいた方に加え、映画関係、マスコミなど幅広い方々が出席しました。

月日の経つのは早く、当財団創立者・山路ふみ子先生が平成16年12月6日に92歳で亡くなってから18年を超えました。本来であれば17回忌は令和2年になるのですが、コロナ禍のため大勢が集まる行事ができず、やむを得ず延期としておりました。

コロナ第七波が収まり、ウイズコロナへの見通しが立った令和4年12月10日、青山霊園（東京・港区）内大久保家Ⅱ山路ふみ子の本名Ⅱ墓所で圓林寺の早川義亮住職の読経のもと、17回法要をしめやかに行うことができました。耀英一学習院長、大桃敏行学習院女子大学長をはじめ、財団役員、映画賞選考委員、財団運営協力者、財団事業協力者ら山路先生に縁の深い約60人が参列、生涯を映画、教育、福祉に捧げた社会事業家を偲びました。



献杯前の集合写真

岩崎光洋理事長の施主挨拶に続き、来賓挨拶に立った耀院長は、山路先生から女子教育の充実のため学習院女子短大（現学習院女子大）に「語学教育センター」一棟贈呈されるなど学習院との長い関係を紹介、大桃学長と共に感謝の意を表しました。川口洋学習院大名誉教授は女優から社会貢献活動に転じた山路先生のエピソードを紹介し、改めて財団の目的、意義を一同再確認しました。

17回忌お斎の会の

「展示コーナー」を担当して



村上 俊夫
(評議員)

み合わせて「衣紋掛け（衣桁）」の代用としました。他に展示品のサイズに合わせた展示台、アルバムやスクラップブックの見開きページにも気を配りました。

令和4年12月10日、青山霊園の法要に続き行われた、東京・平河町の都市センターホテルでの「お斎の会」に「山路ふみ子メモリアルコーナー」を設けました。私はこの展示責任者を務めました。

展示品の選定については、まず財団の事務局で保管されているもの、貸倉庫に保管されているもの、そして岩崎理事長はじめ役員内で保存されているものをすべて調べリスト化、当財団設立以前と以後に分類しました。内容は山路先生女優時代の写真、新聞記事、ネパール国王からの表彰状、愛用の着物など多岐にわたります。展示スペースの確保・展示方法等をホテル側と試行錯誤しながら見やすい展示を目指しました。

特に苦労したのは着物の展示で、着物ハンガーとハンガーラックを組



山路ふみ子のメモリアルコーナー

私がこの展示品の中で一番印象に残っているのは、昭和4年、山路先生が「ミス神戸」に選出された時代の写真です。海岸でシェパードと一緒に写っているもので、その当時あのような素敵な写真が撮られていたことに驚きを禁じ得ませんでした。

ご出席の皆様が熱心に展示をご覧になってる姿を見て生前の山路先生をご存じの方には思い出を、ご存じでない方には新たな思いを、もっただけたのではないかと、と自負しております。

平成から令和に移って早5年

(敬称略)

1989年(平成元年)

- ・ 8月8日 看護学を専攻する大学院生対象の「公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金」設立
公益信託として三井住友信託銀行に寄託
- ・ 11月28日 第13回「山路ふみ子賞贈呈式」
受賞記念上映映画：北京的西瓜/大林 宣彦
- ・ 12月20日 「公益信託山路ふみ子奨学基金」設立

1990年(平成2年)

- ・ 11月27日 第14回「山路ふみ子賞贈呈式」
受賞記念上映映画：桜の園/中原 俊

1991年(平成3年)

- ・ 4月24日 展示と朗読奉仕活動の拠点として、東京都豊島区目白に「山路ふみ子記念・読売ボランティアセンター」を開設
- ・ 11月25日 第15回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：八月の狂詩曲/黒澤 明
※今回より改称

1992年(平成4年)

- ・ 11月27日 第16回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：遠き落日/神山 征二郎

1993年(平成5年)

- ・ 3月30日 「振興キネマ―戦前娯楽映画の王国」初版発行
(キネマ旬報社刊)
発行：財団法人山路ふみ子文化財団
編者：佐藤 忠男 登川 直樹 丸尾 定
- ・ 11月30日 第17回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：学校/山田 洋次

1994年(平成6年)

- ・ 5月13日 「命あるかぎり贈りたい」初版刊行(草思社刊)
- ・ 11月25日 第18回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：居酒屋ゆうれい/渡邊 孝好

1995年(平成7年)

- ・ 11月24日 第19回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：午後の遺言状/新藤 兼人

1996年(平成8年)

- ・ 11月30日 第20回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：絵の中のぼくの村/東 陽一
- ・ 12月21日 財団創立20周年記念パーティー
於：東京都千代田区・帝国ホテル

1997年(平成9年)

- ・ 11月28日 第21回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：うなぎ/今村 昌平

1998年(平成10年)

- ・ 11月27日 第22回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：愛を乞うひと/平山 秀幸

1999年(平成11年)

- ・ 11月26日 第23回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：鉄道員(ぼっぼや)/
降旗 康男

2000年(平成12年)

- ・ 11月24日 第24回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：雨あがる/小泉 堯史

2001年(平成13年)

- ・ 11月30日 第25回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：千と千尋の神隠し/宮崎 駿

2002年(平成14年)

- ・ 11月29日 第26回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：命/篠原 哲雄

2003年(平成15年)

- ・ 11月28日 第27回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：たそがれ清兵衛/山田 洋次

2004年(平成16年)

- ・ 6月15日 財団事務局を「千代田区三番町五番地」より「港区元赤坂1-1-7-1201」に移転
- ・ 11月26日 第28回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：父と暮せば/黒木 和雄
- ・ 12月6日 創立者・山路ふみ子先生92歳で永眠
- ・ 12月19日 「故 山路ふみ子先生お別れの会」
於：東京都新宿区・学習院女子大学二号館やわらぎホール

2005年(平成17年)

- ・ 11月25日 第29回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：メゾン・ド・ヒミコ/
犬堂 一心

2006年(平成18年)

- ・ 11月24日 第30回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：雪に願うこと/根岸 吉太郎

2007年(平成19年)

- ・ 11月30日 第31回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：
それでもボクはやってない/周防 正行

2008年(平成20年)

- ・ 10月4日 「名画特別上映会」プレ開催
於：東京都豊島区・
学習院創立百周年記念会館 正堂
- ・ 11月28日 第32回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：ぐるりのこと。/橋口 亮輔

2009年(平成21年)

- ・ DVD「山路ふみ子物語」製作
- ・ 10月23日～25日 第1回「名画特別上映会in静岡県熱海市」
於：静岡県熱海市・起雲閣ホール
- ・ 11月27日 第33回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：ディア・ドクター/西川 美和

2010年（平成22年）

- ・10月22日 第1回「学生映画コンクール」
於：東京都豊島区・新文芸坐
- ・10月30日 第2回「名画特別上映会in静岡県伊豆稲取町」
於：静岡県伊豆稲取町・東伊豆町立稲取
小学校 体育館
- ・11月26日 第34回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：悪人/李 相日
- ・12月5日 「山路ふみ子先生7回忌納骨法要」
於：東京都港区・青山霊園
お斎：東京都港区・青山浅田

2011年（平成23年）

- ・6月15日 「命あるかぎり贈りたい」第2版を発行
- ・6月24日 青山霊園 山路（大久保）家墓所に「墓誌」建立
- ・7月2日 山路ふみ子生誕100年記念上映会
於：東京都中央区・東京国立近代美術館
フィルムセンター
- ・10月9,10日 第3回「名画特別上映会in新潟県上越市」
於：新潟県上越市・高田世界館
於：新潟県上越市・上越市立リージョンプラザ
大ホール

- ・11月25日 第35回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：一枚のハガキ/新藤 兼人
- ・12月8日 公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律等の規定に基づき、12月8日「公益財団法人山路ふみ子文化財団」として認定され、主務官庁も文部科学省から内閣府に変更となりました。

※第2回「学生映画コンクール」は東日本大震災のため開催延期

2012年（平成24年）

- ・3月12日 「山路ふみ子生誕100年感謝の集い」
於：東京都港区・東京プリンスホテル
- ・11月3日 第4回「名画特別上映会in信州なかの」
於：長野県中野市・中野市立市民会館大ホール
- ・11月30日 第36回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：終の信託/周防 正行

2013年（平成25年）

- ・3月16日 第2回「学生映画コンクール」
於：東京千代田区・アキバシアター
- ・11月29日 第37回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：おしん/富樫 森

2014年（平成26年）

- ・3月16日 第3回「学生映画コンクール」
於：東京都豊島区・大正大学 5号館
- ・6月1日 第5回「名画特別上映会in秋田県にかほ市」
於：秋田県にかほ市・仁賀保勤労青少年ホーム
ホール
- ・11月28日 第38回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：鯛ノ記/小泉 堯史

2015年（平成27年）

- ・3月7日 第4回「学生映画コンクール」
於：東京都豊島区・大正大学 7号館
- ・8月29日 第6回「名画特別上映会in岐阜・東白川村」
於：岐阜県加茂郡・東白川村役場はなのき会館
- ・11月27日 第39回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：海街diary/是枝 裕和

2016年（平成28年）

- ・2月27日 第5回「学生映画コンクール」
於：東京都新宿区・東京富士大学二上記念講堂
- ・9月26日 「山路ふみ子文化財団創立40周年記念史編纂
委員会」を発足
- ・11月25日 第40回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：怒り/李 相日
- ・12月4日 「山路ふみ子先生13回忌法要」（東京都港区・
青山霊園）
「お斎の会」（東京都千代田区・都市センターホテル）
「命あるかぎり贈りたい」改訂・増補版刊行

2017年（平成29年）

- ・1月7日 第7回「名画特別上映会in佐賀県武雄市」
於：佐賀県武雄市・武雄市文化会館
- ・10月9日 第8回「名画特別上映会in北海道深川市」
於：北海道深川市・文化交流ホール み・らい
- ・11月3日 創立40周年記念史刊行
- ・11月24日 第41回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：幼な子われらに生まれ/
三島 有紀子

2018年（平成30年）

- ・11月30日 第42回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：寝ても覚めても/濱口 竜介

2019年（令和元年）

- ・6月12日 第9回「名画特別上映会in練馬区」
於：東京都練馬区・光が丘キリスト教会
- ・11月29日 第43回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：蜜蜂と遠雷/石川 慶

2020年（令和2年）

- ・2月8日 山路ふみ子出演映画特別上映会
於：東京都中央区・国立映画アーカイブ

2021年（令和3年）

- ・11月26日 第44回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：すばらしき世界/西川 美和

2022年（令和4年）

- ・11月25日 第45回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：千夜、一夜/久保田 直
- ・12月10日 「山路ふみ子先生17回忌法要」
於：東京都港区・青山霊園
お斎：東京都千代田区・都市センターホテル

いい服を着て、美味しいものを食べて、

楽しいのは一瞬の事、

自分の幸せを他の人と分かち合う事で

得られる心の豊かさは、

人生をいかに意義あるものとしてくれることでしょう。

山路ふみ子

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7 赤坂モートサイド1201

E-mail/yamajifumiko-cf@blue.ocn.ne.jp

TEL/03-3479-1087 FAX/03-3479-1086

<http://www.yamaji-fumiko.org/>

山路ふみ子文化財団

🔍 検索

注) 当財団の許可なく、いかなる複製も禁じます。令和5年4月

所管官庁 内閣府